

最終合格者の決定方法について（概要）

【令和4年度・障害者採用選考】

【例】最終合格者数が、事務で2名、学校事務で1名の場合
（実際の最終合格者数は未定です）

氏名	志望順位 (申込時に指定)		第二次考査の成績(順位)		合格状況
	事務	学校事務	事務	学校事務	
Aさん	2	1	1	1○	第1志望 (学校事務)で合格
Bさん	志望せず	1		2×	不合格
Cさん	1	2	2 → 1○	3×	第1志望 (事務)で合格
Dさん	2	1	3 → 2○	5×	第2志望 (事務)で合格
Eさん	1	2	4 → 3×	4×	両方不合格
⋮ (略)	⋮	⋮	⋮ (略)	⋮	⋮

Aさんは、「学校事務」を第1志望として選択し、その成績が1位であったため、「学校事務」で最終合格します。
これにより、「事務」では、Aさんを除いた方の順位が1つずつ繰り上がり、Cさん・Dさんが最終合格します。

(注)

- ①最終合格者は、職種ごとに第二次考査の成績順で決定します。第2志望で合格する場合もあります。なお、職種ごと成績順がそれぞれ異なることがあります。
- ②両方の職種で最終合格ラインに達した場合は、第1志望の職種のみ合格となります。